



明治十年十月十日  
呈利教院 色 瑞行 海

古筆  
了伴

後

あの木目とあるお母様

あつたをむむつふゆい核  
むむつ野道あ穂を遠  
月うんつ存もけり  
存すの葉をたて明  
ひより梅をく  
うんくもる風  
庭いりねる  
海あやのとも  
つよふも  
ま柳の  
姉らけいん甲中  
あまを覚来あ  
り何よ涙の  
秋ま  
駒と  
ら月  
雪の上  
うとせ  
くん  
聲  
哥の  
さ  
あ  
夕



